

地域人材ネット

限界集落での六次産業化による生業創り

小松圭子

(

こまつけいこ

)

有限会社はたやま夢楽 代表取締役社長



○ 登録者情報

所在地

高知県安芸市

略歴

1983年 愛媛県生まれ
2006年 早稲田大学政治経済学部卒
2006年 愛媛新聞社入社
2010年 愛媛新聞社退社、高知県安芸市畑山へ移住
2017年 有限会社はたやま夢楽社長就任、ふるさとづくり大賞(総務省)受賞、地域づくり人材登録
2020年 安芸商工会議所女性会副会長、総務省ふるさとづくり大賞選考委員、NHK四国番組審議会委員

著書・論文等

○ 限界集落での六次産業化による生業創り

取組の内容

半世紀前に800人暮らし、今は20人となった限界集落・畑山で、高知県の地鶏「土佐ジロー」の生産加工販売と、土佐ジローを提供する食堂宿を運営。従業員は11人(役員含む)で、市外県外からの移住者2名は勤続4年以上となり、定着をしています。2004年から、安芸市の指定管理者として運営をしてきた宿・食堂には年間3千人が来店しています。田舎であることを隠さず、不便なところも含めて公表をし、万人受けを狙うのではなく、田舎への理解を深め、ともに楽しめる顧客造りを行っています。

実績

集落への唯一の県道の維持拡幅を目指し、集客を伸ばしていた時期は年間8千人が来店していましたが、畑山という里山の落ち着いた雰囲気の中で、のんびりと過ごしてもらい、家族のような関係性を構築したい、との思いから方針を転換し、予約優先として運営をし、近年は年間3千人で落ち着いています。来店数は減りましたが、売上高は1.2倍を超えて利益率が高まっています。クラウドファンディングを2度実施し、合計1千万円以上を集めています。

工夫した点や苦労した点

年4度、商品紹介だけでなく、暮らしや集落での楽しみ方などを冊子で紹介。ブログやSNSを活用して、田舎の日常の暮らしを発信しています。都市部の人にとっては不便なこともたくさんありますが、田舎の楽しみ方を伝えられるようにしています。

ひとつとPR

限界集落でもきちんと稼ぐことができ、経済の中で、自立をしながら、田舎暮らしを楽しめるように日夜努力と工夫を重ねています。

○ 参考

取組分野の分類

登録者の取組を12の政策分野に分類しています(複数の分野に該当するものもあります)。

1.地域資源を活用した地域経済循環	2.まちなか再生
○ 地場産品発掘・販路開拓	中心市街地活性化
○ 6次産業化	空地・空家・空きビル・空き店舗等対策
○ 経営資源の引継(事業承継等)・起業支援	商店街活性化
地域中核企業等の支援	その他
その他	
3.生活機能の維持	4.環境保全・SDGs
地域医療・福祉	分散型エネルギーシステム
○ 地域交通	地球温暖化対策
○ 集落機能の確保	廃棄物・リサイクル対策
その他	その他
5.防災減災・危機管理	6.観光振興・交流
建築物耐震化・長寿命化	DMOとの連携
地区防災計画	インバウンド対応
BCP	○ 民泊・農泊
避難所運営	地域おこし協力隊の推進
感染症対策	その他
その他	
7.関係人口の創出・拡大	8.移住・定住促進
○ 滞在・活動の場づくり	○ 起業・事業承継等支援
地域おこし協力隊の推進	空地・空家対策
地域と関係人口の協働	地域おこし協力隊の推進
その他	その他
9.少子化対策、子ども・子育て支援	10.地域づくり人材の育成・教育
結婚・出産・子育て支援	人材研修
働き方改革	ふるさと教育
子どもの貧困対策	地域と教育機関の連携(高校魅力化・域学連携等)
その他	その他
11.自治体経営イノベーション	12.シティプロモーション・地域PR
財政マネジメント(公共施設管理・公会計整備)	地域ブランディング
官民連携(PPP・PFI)	メディア活用策
自治体間連携	効果の把握・評価
住民参加	その他
その他	

関連ホームページ

はたやま夢楽	http://tosajiro.com

連絡先

メールアドレス	[アットマーク]		
---------	----------	--	--

※メールを送る際には[アットマーク]を『@』に変えてください。